

ベンチャーキャピタルの投資と成長支援

2008年2月6日

イノベーション・エンジン株式会社



イノベーション・エンジン株式会社

- 設立年月日: 2001年1月31日
- ミッション: 先端技術による産業ニューフロンティアの創出を促すエンジンの役割を果たす
- 資本金: 11,150万円
- 取締役:
 - 佐野 睦典(代表取締役社長)
 - 高城 信義(技術戦略担当)
 - 鈴木 洋一(投資戦略担当)
 - 安田 健(アライアンス戦略担当)
 - 水野 博之(非常勤・元松下電器産業副社長)
- 事業内容: 先端技術の事業化に投資をする三本のベンチャーファンドを運営する。また、投資顧問業も営む。現在の運用総額は約70億円。



投資戦略

戦略的投資領域

日本優位の先端技術により生み出される産業ニューフロンティア。

成長ステージ別投資対象

スタートアップとミドルステージにバランスよく投資を行い、収益性と確実性を追及する。

投資手法

- ・ リードインベスターとして投資を行う。
- ・ 社外取締役で入り、経営体制の強化を推進する。
- ・ 営業支援、企業提携、経営陣採用など、成長加速支援を積極的に行う。

投資回収手段

株式公開に加え、M&Aなども推進する。

出資者との緊密な関係

出資者と投資先企業がWin-Win関係になるように仕組む。



先端技術ベンチャー企業成功の鍵【1】

グローバル視点の価値を創出する

- ・ グローバルベストの技術力と製品力を目指し、高め続ける
- ・ 早い段階でグローバル市場に進出する

マーケットと対話し技術・製品開発を進める

- ・ ユーザーへのソリューション力が決め手
- ・ フラッグシップの製品開発と儲ける製品開発の峻別

死の谷を越える事業展開の策定

- ・ マイルストーンを設定し着実にクリアする
- ・ 開発期間と開発資金は2倍と4倍必要



先端技術ベンチャー企業成功の鍵【2】

プロフェッショナル・アントレプレナーの参加と協力

- ・ 経営・事業・技術・財務のプロフェッショナルの参加
- ・ 共通の目標達成のための役割明確化と協力

外部へのアピール

- ・ 訴求力のあるプレゼンテーション
- ・ 魅力的な事業計画の策定

コミットメントとモチベーション

- ・ 自己宣言して必達意識を持ち実現する
- ・ より大きな責任と報酬を目指す



投資検討から出口まで

投資戦略の明確化(投資領域・成長段階)

ディールソースからの案件紹介

投資検討の4ステップ

一般案件 開発案件 投資案件 コミット案件

投資後の関わり

- ・ モニタリング
- ・ ガバナンス
- ・ 成長加速支援

Exit対応

- ・ 株式公開支援
- ・ 資本提携支援



ベンチャーキャピタルと付合う留意事項

VCのタイプを知る

VCの意思決定プロセスを知る

リードインベスターとの信頼関係を築く

タイムリーディスクロージャーとコンプライアンス

VCの成長加速支援者としての機能を活用する

魅力的な技術・事業シーズの輩出促進策

- ・ 大企業からのスピノフを出やすくする
- ・ 海外の技術を日本で事業化しやすくする
- ・ 日本の技術をグローバル展開しやすくする

政府のR&D助成事業の活性化策

- ・ 事業化成功を目的にする
- ・ プロジェクト・マネージャー制度の導入とモチベーションアップ策

日本の課題と施策(人材・資金面)

ビジネススクールを事業創出準備の場にする

- ・ 事業化に関わるあらゆる人脈が集う場
- ・ 事業化のためのセオリー・実践ツールを揃え、事業計画を準備できる場

人材流動化のインセンティブを高める

- ・ 大企業からベンチャーに移動した場合の 奨励金
- ・ 研究から事業化まで全ての人々が集う場を創出する

技術・事業に精通したVC・銀行を増やす

- ・ これによりリスクを低減し、リターンを増大させることができる
- ・ 資金量の大きい先端技術VCを創出する - 死の谷を越えるために



出でよ！先端技術ビジネスクリエーター

イノベーション・エンジンでは、先端技術ベンチャー企業に投資、経営支援をするキャピタリストやアナリスト、ビジネスプロデューサー候補を募集中です。インターンの応募も可です。

〒108-0023

東京都港区芝浦3-11-13 SUDO BLD.5F

TEL 03 - 5730 - 6721

FAX 03 - 5730 - 6722

<http://www.innovation-engine.co.jp>

E-mail info@innovation-engine.co.jp